

第28回 東備西播定住自立圏形成推進協議会 会議録

1 日 時 令和3年12月23日(木) 16:00～17:00

2 場 所 赤穂市役所6階 大会議室

3 出席者

(1) 委 員

牟礼 正稔	赤穂市長
藤本 大祐	赤穂市副市長
山田 昌弘	赤穂市議会議長
前田 尚志	赤穂市議会副議長
吉村 武志	備前市長
杉浦 俊太郎	備前市副市長
守井 秀龍	備前市議会議長
掛谷 繁	備前市議会副議長
梅田 修作	上郡町町長
山本 高士	上郡町副町長
木村 公男	上郡町議会議長
立花 照弘	上郡町議会副議長

(2) 幹 事

赤穂市：尾崎市長公室長
備前市：佐藤市長公室長
上郡町：宮下企画政策課長

(3) 事務局及び各市町担当者

赤穂市：玉木企画政策課長、谷政策担当係長
備前市：桑原企画課長、榊原主事

(4) 説明員

①教育施設部会：波多野備前市社会教育課長
②給食部会：深澤教育総務課長
③観光部会：寺下赤穂市観光課長
④農林商工部会：山本赤穂市農林水産課長、高見赤穂市商工課長
⑤交通部会：玉木赤穂市企画政策課長(代理)
⑥通信情報部会：古谷赤穂市デジタル化推進課長
⑦職員部会：末井赤穂市人事課長
⑧交流定住部会：寺下赤穂市観光課長
⑨医療分野：平松赤穂市民病院総務課長(代理)

4 会議の概要

(1) 開 会

(2) 会長あいさつ

(3) 報告事項

- ・令和2年度東備西播定住自立圏形成推進協議会事業報告について
- ・令和2年度東備西播定住自立圏形成推進協議会決算について

(4) 協議事項

- ・東備西播定住自立圏域におけるJRへの取組みについて

(5) その他

(参考) 東備西播定住自立圏共生ビジョン令和3年度上半期実施状況

(6) 閉 会

5 議事の概要

尾崎幹事 定刻になりましたので、ただ今から、第28回東備西播定住自立圏形成推進協議会を開催いたします。

本日の進行をさせていただきます、赤穂市市長公室長の尾崎です。よろしくお願いいたします。

さて、議事に入ります前に、本日の協議会に傍聴の申し出がございます。

会議の傍聴につきましては、本協議会「会議規程」第2条で原則公開となっておりますが、出席委員の過半数の決定により非公開とすることができます。

本日の議事内容は、お手元のとおりでありますので、会議の冒頭から傍聴を認めたいと思います。

また、写真等の撮影希望があれば「会長あいさつ」までとし、会議中の撮影、録音はできないこととしたい、と考えておりますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

異議なしというお言葉をいただきましたので、傍聴を認めるということで、傍聴の方にお入りいただきます。しばらくお待ちください。

(傍聴者入室)

お待たせいたしました。

会議中の写真撮影等をご遠慮いただきますので、ご希望があれば、ただ今から会長あいさつまでの間、写真等の撮影を認めたいと思います。必要な方は、この時間をお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、会長であります赤穂市の牟礼市長よりごあいさつ申し上げます。

牟礼会長 改めまして、こんにちは。本日は、年末の大変お忙しい中、コロナ禍にも関わりませず第28回東備西播定住自立圏形成推進協議会にご出席賜り、誠にありがとうございます。

本年3月以来の開催となり、この間、備前市長選挙、上郡町長及び上郡町会議員

選挙、赤穂市議会議員選挙によりまして、7名の新たな委員に就任をいただき、本日ご出席をいただいております。新委員におかれましては、今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、東備西播定住自立圏事業につきましては、平成22年度から具体的な事業に取り組み、現在は、令和2年度から令和6年度までの5カ年の共生ビジョンのもと、協定に基づく連携分野において、事業展開を行っているところでありますが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、事業の中止や延期、規模の縮小といった状況が続いております。

現在、緊急事態宣言の解除以降は新型コロナウイルス感染症の新規感染者数も低い水準で推移してはいるものの、新たな変異株の発生など、予断を許さない状況であります。

ウィズコロナ、そして、ポストコロナの未来を見据え、圏域全体の魅力の向上と、活力ある地域を作るため、委員の皆さまには、それぞれのお立場でご尽力をいただいているところでございますが、引き続き圏域事業への更なるご理解とご協力をいただきたいと思います。

本日は、令和2年度事業の実施内容並びに決算について、ご報告いたしますとともに、令和3年度の上半期における事業の実施状況について、ご説明申し上げます。

委員の皆さまにおかれましては、コロナ禍での会議となりますことから、スムーズな議事進行にご協力をお願い申し上げます。簡単ではございますが、開会のあいさつとさせていただきます。

尾崎幹事

以上で撮影の時間を終了いたします。

議事に入ります前に、会長の挨拶にもありましたとおり、赤穂市議会より山田議長、前田副議長、備前市より吉村市長、杉浦副市長、上郡町より梅田町長、山本副町長、上郡町議会より木村議長に、新たに委員としてご出席をいただいております。

新委員の皆様から一言ずつ自己紹介をお願いしたいと存じます。

まず、赤穂市議会議員 山田 昌弘様です。

次に、赤穂市議会副議長 前田 尚志様です。

次に、備前市市長 吉村 武司 様です。

次に、備前市副市長 杉浦 俊太郎様です。

次に、上郡町町長 梅田 修作様です。

次に、上郡町副町長 山本 高士様です。

次に、上郡町議会議員 木村 公男様です。

ありがとうございました。なお、お手元に委員名簿並びに部会別役割分担表を配布しておりますので、後ほどご覧ください。

それでは協議会規約第11条第2項の規定により、会長が議長に当たることとなっておりますので牟礼会長、議事進行をお願いいたします。

牟礼会長

定めにより、私が議事進行を務めさせていただきます。円滑な進行にご協力お願いいたします。

それでは、3の報告事項に入ります。

(1)の令和2年度東備西播定住自立圏形成推進協議会事業報告、及び(2)の令和2年度東備西播定住自立圏形成推進協議会歳入歳出決算について、それぞれ関

連がありますので一括して報告いたします。

事務局、説明してください。

事務局

それでは、令和2年度東備西播定住自立圏形成推進協議会事業報告及び決算について、ご説明申し上げます。

表紙が第28回東備西播定住自立圏形成推進協議会となっております資料の1ページをお願いいたします。令和2年度 東備西播定住自立圏形成推進協議会事業報告書について、であります。

はじめに、(1) 東備西播定住自立圏形成推進協議会について、であります。

令和2年12月24日に第26回協議会を開催し、令和元年度の事業報告及び決算について、ご報告させていただきました。

続いて、令和3年3月18日に第27回協議会を開催し、共生ビジョンの第1回変更と、令和3年度予算について、ご協議いただきました。

続きまして、(2) 事業報告について、であります。

こちらは、別冊の資料1となっております「令和2年度事業報告書」をお願いいたします。

めくっていただきまして、1ページをお願いいたします。

「地域医療の連携」として、ページの中ほど医療連携研究会事業ですが、「リフレセンターびぜん」におきまして、岡山大学の学長をお招きして「次世代育成がカギとなる、地域医療のあるべき姿とは」という内容で、公開学術講演会を行いました。参加者は89名で、事業費は掲記のとおりでございます。

続きまして、2ページをお願いいたします。

上段、看護職員教育研修支援事業ですが、看護職員の研修用シミュレータを購入し、新人看護職員のレベルアップに活用しております。

購入した研修用備品及び購入金額は、掲記のとおりでございます。

つぎに、下段、圏域住民診療支援事業ですが、予算執行はございません。

続きまして、3ページをお願いいたします。

「生涯学習の推進」として、まず、日本遺産を活かした地域の魅力向上事業についてで、あります。

2市1町の住民を対象とした講演会等の開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、講演会の開催は見送り、圏域の歴史文化の魅力を発信するため、東備西播の4件の日本遺産を紹介するパンフレットを作成しました。

事業費につきましては、掲記のとおりでございます。

続きまして、4ページの図書館相互利用推進事業についてで、あります。

平成23年4月より、3市町の公立図書館と、関西福祉大学図書館の各図書館の相互利用を行っております。

各図書館への登録状況及び事業費につきましては、掲記のとおりでございます。

続きまして、その下の図書館読書活動推進事業についてであります。

赤穂市立図書館と関西福祉大学図書館において、読書活動を推進するため、共同

で「おすすりえほん」の企画展示を行いました。

令和2年5月21日から8月31日にかけて開催し、参加者は、合計で約1,300名でございます。

続きまして、5ページをお願いいたします。

文化・スポーツ交流事業ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面での会議等を行わず、オンラインにより実施しております。

また、赤穂シティマラソン大会については、通常開催ではなく、オンライン大会として令和3年2月20日から3月7日までの期間で開催しました。

備前日生大橋マラソンは中止となっております。

つぎに、文化・スポーツ施設相互利用促進事業ですが、3市町の文化・スポーツ施設の使用料金格差をなくし、お互い利用しやすくするように、平成23年4月より相互利用を開始しております。

続きまして、6ページをお願いいたします。

下段のトップアスリート等招聘事業ですが、例年実施しておりますトップアスリートによるスポーツ教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から行わずに、スポーツ指導者オンライン研修会として、元男子ラグビー日本代表メンタルコーチによる研修会を行いました。

参加者は、合計62名で、事業費は、掲記のとおりでございます。

続きまして、7ページをお願いいたします。

中学校吹奏楽部交流助成事業ですが、こちらは3市町の中学校吹奏楽部と赤穂市吹奏楽団による交流事業に対して、助成するものであります。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止としました。

つぎに、その下、圏域中学生体験（社会福祉・看護・教育）プログラム事業ですが、こちらは圏域内3市町の中学生が、関西福祉大学において、社会福祉・看護・教育に関する専門的なプログラムの体験を、学校教育における授業として、実施するものでございます。

上郡町、備前市の中学校については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施を見送り、赤穂市のみの実施となっております。

5校の生徒、368名が参加し、事業費は掲記のとおりでございます。

続きまして、8ページをお願いいたします。

赤穂市生涯学習施設整備事業ですが、赤穂市の負担により、赤穂市立文化会館の改修工事を行いました。

つぎに、その下、備前市生涯学習施設整備事業ですが、備前市の負担により、市民センターの改修工事を行いました。

続きまして、9ページをお願いいたします。

上郡町スポーツ施設整備事業ですが、上郡町の負担により、上郡町スポーツセンターの修繕工事を行いました。

続きまして、10ページをお願いいたします。

「学校給食の広域連携」であります。

学校給食連携事業ですが、こちらは学校給食の食材に関する情報交換や、圏域における地元食材等の相互活用を行うものであります。

令和2年8月18日に給食部会担当者会を実施しております。内容は、掲記のとおりでございます。

続きまして、11ページをお願いいたします。

「地産地消の推進及び地域ブランドの発掘」であります。

地域ブランド発掘事業ですが、地域ブランド発掘支援金として1団体に支援金を交付しております。

事業費は、掲記のとおりでございます。

続きまして、12ページをお願いいたします。

「観光振興の推進」であります。

観光振興推進事業ですが、こちらは台湾からの誘客を目的として、圏域周遊旅行プランを制作しました。

事業費は、掲記のとおりでございます。

続きまして、13ページをお願いいたします。

「鳥獣害防止総合対策」であります。

有害鳥獣対策事業ですが、猟友会活動用資材の現物支給や捕獲活動用消耗品の支出を行いました。

事業費は、掲記のとおりでございます。

続きまして、14ページをお願いいたします。

「企業誘致の推進」であります。

企業誘致促進事業ですが、サテライトオフィス誘致のため、(株)あわえが主催するオンラインマッチングイベントに出展しました。

事業費は、掲記のとおりでございます。

続きまして、15ページをお願いいたします。

「地域公共交通ネットワークの構築」であります。

「地域公共交通」であります。こちらは2事業、実施しております。

はじめに、圏域バス運行事業ですが、圏域住民の移動手段の確保と、利便性の向上を図るため、圏域バス「ていじゅうろう」を運行しております。

利用者数につきましては、下段の運行状況一覧表のとおりですが、令和元年度と比較すると、上郡ルートでは2,857名の減、備前ルートでは15名の減となっております。コロナ禍での人流の抑制による影響があったものと思われま

事業費は、掲記のとおりでございます。

続きまして、16ページをお願いいたします。

JR利便性向上事業ですが、JR山陽本線と赤穂線の利便性向上を図るため、兵庫・岡山両県境協議会の要望とあわせて、JR西日本に対して要望を行う事業でありまして、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面での要望会は実施せず、要望書の提出となりました。

事業費は、掲記のとおりでございます。

続きまして、同ページ中ほど「ICTインフラ整備」として、地域情報活性化事業を実施しております。

圏域ホームページ「ともりんく」を運用し、地域コミュニティの活性化を図っています。

続きまして、17、18ページをお願いいたします。

「地域内外の住民との交流・移住促進」として、

民間イベント等助成事業ですが、圏域内外の住民交流の促進と、賑わいを創出する事業として、18ページに記載しております11団体が実施するイベントに対して、補助を行う予定としておりましたが、4団体がイベント中止、1団体が交付決定の取消しとなりましたことから、6団体へ助成を行いました。

事業費は、掲記のとおりでございます。

続きまして、19ページをお願いいたします。

こどもと学生のふれあい活動支援事業ですが、こちらは関西福祉大学の学生ボランティアが、夏休み期間中に実施する、こども宿題教室等の経費に対し、補助をするものであります。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。

続きまして、同ページ、地域連携フォーラム支援事業ですが、こちらは関西福祉大学が、福祉、看護、教育の視点から、様々な地域課題の解決に向けて取り組む、地域連携フォーラムであります。

こちらの事業につきましても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。

事業は中止となりましたが、講演の準備をしておりましたので、事務費等について事業費が発生しており、掲記のとおりでございます。

続きまして、20ページをお願いいたします。

定住相談会開催等事業ですが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインで定住相談会に参加しました。

また、「田舎暮らし本」1月号にて3市町の情報発信として、移住者のインタビューや「田舎暮らし本」ホームページへの掲載を行いました。

事業費は、掲記のとおりでございます。

続きまして、21ページをお願いいたします。

縁結び事業ですが、こちらは圏域内の男女に、圏域の魅力ある資源を活用した、出会いイベントを開催する事業であります。

令和3年2月14日に『バレンタインカップリングパーティー』と題しましてイベントを開催しております。

男性15名と、女性15名の参加がありまして、このうち7組のカップルが成立しております。

事業費は、掲記のとおりでございます。

つぎに、下段の定住相談員設置事業ですが、定住に関するさまざまな要望に対して、迅速・的確にこたえるため、平成28年度から、3市町にそれぞれ各1名、「定住相談員」を配置しております。

日頃の定住に関する問い合わせの対応をはじめ、定住相談会への同行や、お試し暮らし住宅の案内、利用者への応対などを行っております。

事業費は、人件費が主なもので、掲記のとおりでございます。

続きまして、22ページをお願いいたします。

「圏域内の職員等の交流」として、
職員研修事業ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施しておりません。

続きまして、23ページをお願いいたします。

人事労務担当職員研究会（交流）事業につきましては、備前市役所で1回開催し、協議内容は、掲記のとおりでございます。

つぎに、専門家招へい事業ですが、高度で専門的な知識等を有し、広域的な行政運営の見識が深く、専門的な立場から指導できる専門家を招へいし、職員の育成を図るものであります。

こちらにも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施しておりません。

令和2年度の事業報告については、以上でございます。

続きまして、第28回 東備西播定住自立圏形成推進協議会と表紙に書いております資料に戻っていただきまして、2ページをお願いいたします。

A4横長になっております、令和2年度歳入歳出決算について、であります。

上段には、決算額の集計を記載しております。

歳入総額は、4,033万2,956円、歳出総額は、3,212万9,492円で、差引残額は、820万3,464円となっております。

なお、残額につきましては、令和3年度へ繰越しをさせていただきます。

続きまして、歳入、歳出別に、ご説明をさせていただきます。

恐れ入りますが、はじめに3ページの歳出をお願いいたします。

まず、1款1項1目、1一般管理費ですが、こちらは事務局の会計年度職員に係る共済費や賃金、事務局の運営に係る経費となっております。

執行額は、支出済額の一番上のとおり、286万5,324円であります。

続きまして、2款1項1目、活動事業費ですが、内容としましては、先ほど事業報告でご説明させていただいた、活動事業に対する経費であります。

執行額は、2事業費の支出済額のところで、2,926万4,168円であります。

3款1項1目、3予備費の執行はございません。

よって、歳出合計は、支出済額の一番下、3,212万9,492円であります。

戻っていただきまして、2ページの歳入をお願いいたします。

はじめに、1款1項1目、負担金であります。

収入済額の一番上のとおり、3市町から、あわせて3,676万8,032円を負担いただいております。

つぎに、2款1項1目、繰越金が354万2,203円、3款1項1目、雑入が、2万2,721円、それぞれ収入しております。

よって、歳入合計は、収入済額の一番下、4,033万2,956円であります。

令和2年度の決算につきましては、以上でございます。

牟礼会長

事務局の説明は終わりました。次に、決算審査報告を、監事である備前市議会議

長及び上郡町議会議長を代表して、備前市の守井委員からお願いしたいと思います。

守井委員

監事を代表いたしまして、決算審査報告をいたします。

東備西播定住自立圏形成推進協議会規約第9条第2項の規定に基づき、令和2年度東備西播定住自立圏形成推進協議会会計について、会計監査を実施しました。

監査の日時及び場所は、令和3年5月19日午前10時から上郡町役場、5月20日午後2時から備前市役所において行いました。

監査の結果、令和2年度東備西播定住自立圏形成推進協議会会計にかかる出納その他付属書類について、諸帳簿等が適正かつ正確に処理されていることを認めましたので、ご報告いたします。

以上、決算審査報告を終わります。

牟礼会長

ありがとうございました。決算に関する説明は終わりました。
以上の報告事項について何か質問等ありますか。

前田委員

民間イベント等助成事業についてです。11団体の応募があり、中止した団体と、交付を取り消した理由を説明してください。

事務局

交付を取り消した理由は、チラシ等に東備西播定住自立圏形成推進協議会と明記していただくこととなっておりますが、明記していなかったため、赤穂市文化協会の交付の取り消しをすることとなりました。中止となった団体は、備前市グランド・ゴルフ協会、羽音色、赤穂ダンスクラブ、東備西播定住自立圏域史跡探訪会です。

牟礼会長

他にないようでしたら、ただいまの事業報告及び決算報告につきまして、承認いただいてもよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、承認いたします。

次に4の協議事項に入ります。

東備西播定住自立圏域におけるJRへの取組みについて、私の方から一つご提案させていただきたいと思います。

皆さま、ご承知のとおり、昨年度、JR西日本が新型コロナウイルス感染症の影響によって大幅な赤字となり、今後も回復の見通しが立たないことから、令和3年10月2日からJR赤穂線の姫路駅—播州赤穂駅間、及び山陽本線の相生駅—上郡駅間において、それぞれ昼間時間帯の10時から14時の間、1時間に1本の運行が減便されました。

先日、JRから発表された来春3月12日のダイヤ改正でも、赤穂線の備前片上駅—岡山駅間の最終便の繰り上げや、山陽本線の岡山駅—三石駅行きの最終便の削減、吉永駅—岡山駅間の朝の時間帯の削減など、繰り上げや減便がなされるようであります。

先日の報道では、JR西日本管内において2021年春と比較して、列車走行

キロで5%相当の削減となり、そして今後さらに利用者の減少による赤字額の増加を理由に、朝夕の通勤・通学時間帯の減便など、さらなるダイヤの見直しが行われることが危惧されます。

東備西播定住自立圏域では、定住自立圏を推し進めるためにも、これ以上、JRの利便性が損なわれることは避けなければなりません。

そのためには、力を合わせてJRの利用を促進する取り組みを行い、JR利用者の増加を図るとともに、交流人口及び関係人口の拡大による圏域の地域経済の活性化、及びJR赤穂線、山陽本線の永続的な発展を図らなければならないと思います。

そこで、別紙資料2のとおり、新たにJR利用促進協議会を設立し、取り組んでいきたいと考えております。

そこで、お諮りさせていただきます。

JR利用促進協議会の執行予算として、すでにある東備西播定住自立圏共生ビジョンの「JR利便性向上事業」の予算を使用してはどうかと考えますが、いかがでしょうか。

また、協議会の構成としては、各市町の首長と議会議長にお入りいただき、東備西播定住自立圏域におけるJRの利用促進、圏域の地域経済の活性化を図っていただければと考えておりますので、何とぞよろしくお願ひいたします。

以上、ご提案しました内容について、何か質問等ありますか。

梅田委員

良い取り組みだと思います。

JRの問題は、新型コロナウイルス感染症の影響もありますが、町の市政ではJRの前向きな取り組みは期待できないと思います。このような会を設立し、積極的に行動することは、今考えられる最善の策だと思いますので、ぜひ行っていただきたいと思います。

守井委員

先日、山陽本線を利用させていただきましたが、上郡と三石の間は、非常に交流が少ないと痛感しております。備前片上や吉永、三石の最終列車の減便や削減が行われると聞き驚きました。協議会の結成だけでなく、具体的にどのような行動をするのかを執行部にしっかり行っていただき、少しずつでも前に進むようなことを提案していただければと思います。

最終的には負担金を出す、或いは国からの補助を得て地域の活性化に繋げていくという活動に繋げていかなければならない時代になっていると思います。執行部の皆さんには、ぜひ考えていただき、また私たちに相談していただければありがたいと思います。

牟礼会長

ありがとうございます。
木村委員はいかがですか。

木村委員

大変良いことだと思います。ダイヤを見ても先ほど会長の説明でもあったように減便や繰り上げ等、これからのことを考えると、このような促進協議会を作成し、様々な活動を行ってほしいと思います。また、先ほど守井委員のおっしゃったように、色んな策を考えて皆で活動していけたらと思います。よろしくお願ひします。

牟礼会長

ありがとうございます。
山田委員は、いかがですか。

山田委員 単独でもJRにお願いはしていますが、単独ではなかなか動いてもらえない現状もごございます。この東備西播定住自立圏で協力し、利便性を向上するようしっかり進めていただきたいと思います。

牟礼会長 ありがとうございます。
他に意見はございませんか。

前田委員 構成メンバーとして、首長と議会とのことでしたが、例えば賛同する民間の団体もメンバーに入っていたかどうかという考えはありますか。

牟礼会長 私の考えですが、例えば、観光振興に繋がるような経済界にも一緒に活動することは大事だと考えています。まずは、この東備西播定住自立圏の構成メンバーである2市1町で会を発足し、その後、活動する際には経済界等も入っていただく必要があると考えており、賛同が得られれば民間の方にも入っていただきたいと思います。

他にないようでしたら、ただいまの提案内容について、今後、進めさせていただいてもよろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。

次に5の「その他」に入ります。

参考としております、東備西播定住自立圏共生ビジョン令和3年度上半期実施状況について、事務局、説明してください。

事務局 それでは、令和3年度上半期の事業実施状況について、ご説明申し上げます。
先ほどの令和2年度事業報告におきまして、各事業のご説明をさせていただきましたが、令和3年度におきましても継続事業が多々ありますことや、また、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、事業が中止となったものもごございますので、開催、または今後開催する予定の主な事業についてのみ、ご説明させていただきます。

それでは、資料3、令和3年度事業報告書の、3ページをお願いいたします。
教育分野、生涯学習の推進であります。

令和2年度からの新しい共生ビジョンの事業として、「日本遺産を活かした地域の魅力向上事業」に取り組んでおります。

上半期ではございませんが、来年1月29日に赤穂市文化会館において、青山学院大学の教授と、大学院生を講師にお招きし、「赤穂の塩作りの歴史」について、それぞれご講演いただくこととしておりまして、現在、2市1町から受講者を募集しております。

続きまして、4ページをお願いいたします。

図書館相互利用推進事業ですが、こちらは、それぞれ2市1町にある図書館の相互利用を一層推進するため、本の返却を住民が住んでいる市町の図書館から、本を借りた他の市町の図書館まで返却する、託送サービスを実施しております。

上半期までの各図書館における登録状況については、掲記のとおりで、合計

2, 038人となっております。

続きまして、5ページをお願いいたします。

下段、文化・スポーツ交流事業ですが、中ほど、第11回 赤穂シティマラソンオンライン大会を11月13日から28日にかけて、兵庫県内、また備前市在住の方のみを参加資格として、開催いたしました。

本資料の作成時点では、申込み状況が確定しておりませんでした。エントリー総数は425名で、そのうち赤穂市在住が259名、上郡町在住が11名、備前市在住が3名となっております。

続きまして、7ページをお願いいたします。

上段、トップアスリート招へい事業ですが、11月6日にアトランタ・シドニー・アテネ・北京オリンピック日本代表で銀メダリストの朝原宣治氏と、リオデジャネイロオリンピック棒高跳びの日本代表の荻田大樹氏を講師にお招きし、備前市総合運動公園で、小学生と中学生を対象とした、陸上競技教室を行っております。

こちら、資料の作成時点では参加実績がまとまっておりませんでした。小学生から中学生まで、合計127名の参加があり、内訳は赤穂市が39名、上郡町が21名、備前市が67名となっております。

続きまして、8ページをお願いいたします。

圏域中学生体験プログラム事業ですが、こちらは圏域内の中学生が、関西福祉大学において、社会福祉、看護、教育に関する専門的なプログラム体験を、学校教育における授業として実施するもので、上郡中学校は今回参加を見送りましたが、赤穂市内の5中学校と備前市内の中学校2校が参加し、10月から12月にかけて実施しております。

続きまして、施設整備関連について、であります。

下段をお願いいたします。

赤穂市生涯学習施設整備事業では、赤穂市文化会館の舞台照明負荷設備改修工事を、また9ページ、備前市生涯学習施設整備事業では、備前市民センターの屋上防水改修工事と、日生市民会館の自動火災報知設備等取替工事とその工事設計委託を、また、下段、上郡町スポーツ施設整備事業では、上郡町スポーツセンターのプール改修工事を実施することとしております。

続きまして、12ページをお願いいたします。

下段、観光振興推進事業ですが、これまで、この圏域内の観光振興において、海外マーケットのターゲットとしておりました台湾の方々に、新型コロナウイルスが収束したのちにお越しいただけるよう、昨年行った圏域内の観光調査事業を元に、圏域内の具体的な周遊コースプランの制作と、そのツアーを組み入れた商品を販売する旅行会社の選定などを行うこととしております。

続きまして、15ページをお願いいたします。

地域公共交通ネットワークの構築について、であります。

圏域バス運行事業として、「ていじゅうろう」が上郡ルートと備前ルートを運行しております。

4月から9月の上半期の実績ですが、利用者総数は、少し字が小さいですが、一番下、左から3番目、4, 426人で、その内訳は上郡ルートが2, 741人、備前ルートが1, 685人となっております。

昨年に引き続き、新型コロナウイルスによって、緊急事態宣言が出された影響などから、利用者は減少傾向となっております。

続きまして、17ページをお願いいたします。

地域内外の住民との交流・移住促進について、であります。

民間イベント等助成事業として、圏域内の住民交流の促進と賑わいの創出を図るため、18ページに記載の8団体から応募があり、それぞれイベントを実施していただくこととしております。

昨年度は4つのイベントが、新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、本年度については、今のところ、イベント中止の申し出はいただいておりません。

続きまして、19ページをお願いいたします。

上段、こどもと学生のふれあい活動支援事業であります。

こちらは、関西福祉大学の学生が、2市1町の小学生を対象に、夏休みの学習を支援し、子どもたちの学力向上と世代間交流によって、社会性を備えた豊かな心を育むことを目的に、8月3日（火）と4日（水）の2日間、実施しております。

参加者は合計91名で、内訳は赤穂市が71名、上郡町が14名、備前市が6名でございます。

続きまして、20ページをお願いいたします。

定住相談会開催等事業について、であります。

中ほど、移住相談会ですが「おいでや！いなか暮らしフェア2021」にオンラインで参加し、8件の移住相談を受けております。

また、来年1月8日には、大阪 OMM ビルで開催される「兵庫県・岡山県合同移住相談会」に出展参加し、定住相談を受け付け、2市1町への移住定住に結びつけていきたいと考えております。

また、宝島社が発刊する「田舎暮らし本」1月号に、カラー2ページで2市1町のまちな魅力を発信する情報と、2市1町にそれぞれ移住されてきた3世帯の方々が、インタビューを受けられた記事が掲載されております。

続きまして、21ページをお願いいたします。

上段、縁結び事業ですが、資料では検討中としておりますが、来年1月16日に上郡町のプアランド山の里で、「ときめき スウィーツ・ウィンター カップリングパーティー」と題したイベントを開催し、2市1町の20代から30代の独身男女、それぞれ15名程度の参加を募集しております。

最後に、その下、定住相談員設置事業ですが、平成28年度から2市1町に、それぞれ定住相談員を1名ずつ配置し、移住を検討している方への相談や、お試し暮らし住宅への案内、その他、定住に関するさまざまな要望に迅速かつ的確にお応えすることとしております。

令和3年度、上半期の主な事業の実施状況は、以上でございます。

また、今後は各部会より提出された来年度の予算要求について先日開催されました幹事会ヒアリングを基に事務局で予算編成作業を行ってまいります。

牟礼会長

事務局の説明は終わりました。今までの事業実施内容について、何か質問等ございますか。

(質疑応答)

ないようですので、他に事務局から何かありますか。

尾崎幹事

次回の協議会は、令和4年度予算などをご協議いただく予定としておりますが、開催日につきましては、改めて通知させていただきたいと思います。

牟礼会長

その他にありませんか。

ないようですので、本日の会議は終了いたします。
お疲れ様でした。